令和元年度　第1回常任理事会議事録

開催日時：令和元年7月21日（日）　　　　14:00～16：00

開催場所：済生会山口総合病院　4階大会議室

出席者：三輪光良　堀　健司　小田真一郎　齋藤茂治　佐野裕一　河村裕介　大平知之　山本公志

　以上、定款第35条・38条の規程により構成員の過半数の出席で常任理事会は成立。会長 三輪光良が議長となり、定款第35条に基づく出席者の中より、議事録作成人として山本公志常任理事、議事録署名人として小田真一郎副会長と河村裕介常任理事を選出した後、次の議案を付議した。

1. **連絡協議会について**

三輪会長：本年度も8月2日に連絡協議会を開催する。本来ならばこの常任理事会で検討課題を練りたかったが、県への提出期限があったため、すでに検討課題を県に提出した。

1. 医療法施行規則の一部を改正する省令の施行等について

三輪会長：2020年4月1日より医療法施行規則の一部改正が行われるが、具体的にどのようにしたらよいのか？県としてどのような準備をしているのかを尋ねたい。

各施設において尋ねたいことがあれば、質問を考えておいてほしい。

* 医療放射線安全管理責任者の配置　JARTが頑張ったので、条件付きではあるが診療放射線技師もなれることになったので、是非各施設にて検討指定いただきたい。特に放射線科医がいない施設では医療放射線安全管理責任者を診療放射線技師になっていただきたいと考えている。
* 診療放射線の安全利用のための指針策定　厚労省から指針案が出されているが、分かりにくい。JARTも質問事項をまとめて秋には厚労省に出したいと言っていた。県として医療監視の中で、どのような質問を考えているのか尋ねたい。

1. 診療放射線技師の養成学校設置に関する情報提供のお願い

三輪会長：山口県で診療放射線技師養成学校を設置する予定はないが、あるようなら情報を提供していただきたい。

1. 病院立入検査におけるチェック項目について（継続のお願い）

三輪会長：統一講習会の受講率を引き続き聞いてほしい。今年度で統一講習会は終わるので、今後この項目を監査で聞いてもらうのかどうするのか？今年度は聞いてもらうが今後については、引き続き検討とする。

1. 無資格者問題

三輪会長：昨年度は、クリニックなどでCTを新設する際に、診療放射線技師がいるか聞いてほしいとお願いしたが、それは難しいとの回答だった。2020年の医療法改正に伴い、診療放射線技師が在籍していない施設において、管理体制が充分充実できるのかを審査していただくよう要望したい。

1. 山口県がん医療体制整備事業補助金交付について

三輪会長：補助金交付について問い合わせがあった。申請用紙があり、事前に申し込みをし、合格した場合補助金がいただける。事前に申し込みがあれば、1度目に不合格でも2度目に合格であれば補助金を出していただけると聞いている。治療のある施設はぜひこの制度を利用していただきたい。

堀副会長：年間何人まで利用できるとかあるのか？

三輪会長：特には聞いていない。

1. その他

小田副会長：原子力災害時の緊急被ばく対応訓練の診療放射線技師講師派遣についての確認だけはおこなったほうがよい。

三輪会長：秋に災害訓練が行われるが、その後に県と反省会など情報交換をしようとお話はしている。

連絡協議会の議題①から⑥を検討した。次回理事会にて議案とする。

1. **ピンクリボンイベント（9/21）協力団体依頼について**

三輪会長：毎年県から協力の依頼があり協力している。学会の日程と重なっているので参加はできないがチラシを配ったりして協力している。今年も協力する事とする。

三輪会長：これとは別で、「平成31年度の健康やまぐち２１推進県民会議における取組について」のスローガン、具体的な取組、成果目標を出してほしいと依頼があった。テーマはがん検診の受診率等の向上対策である。スローガンは「県内どの医療機関でも、放射線画像検査分野において全国標準レベル以上の技術を提供し、安心して受診できる環境づくりを提供する。」とした。具体的な取組については、講習会等で個人のレベルアップを図るとし、成果目標は講習会受講者数を挙げ提出した。

次回理事会にてピンクリボンイベント協力団体依頼可否を議案とする

1. **山口県総合保健会館　外壁について**

三輪会長：山口県総合保健会館管理組合会議があり楠本さんが参加した。議題の中に「外壁修理について」があった。現状は平成27年の外壁調査から4年経過している。また、3年に1度の建築基準法に基づく定期点検も実施されていない。保健会館は一般の方も利用されるので、タイルが落下すればとても危険な状態にある。バリケード封鎖を行い、バリケードに「外壁落下の危険があるため閉鎖」の表示を行うためには、入居団体すべての合意が必要となるとのことであった。もし、外壁の修理が行われる場合には当会も、わずかではあるが支払いを行わなければならない。

8月28日までに合意が必要なので、当会としては修理することを前提とし、バリケード封鎖には同意するという方向で、次回理事会にて協議する。

次回理事会にて山口県総合保健会館外壁の修理を前提として、バリケード封鎖同意について議案とする。

1. **事務所の蛍光灯について**
2. **事務所パソコンについて**

三輪会長：すでに12本のうち6本の蛍光灯が切れている。安定器も壊れている箇所がある。

安定器も壊れているので、LEDに変える工事の見積もりを取っている。

河村常任理事：2社の見積もりは取れないのか？

三輪会長：2社見積もりを取ったが、1社は安価だったが安定器を変えずにLEDの蛍光灯をつけただけの見積もりだった。

堀副会長：安定器をLED用に変えずにLED蛍光灯を付けるのはとても危険である。電圧が違うので火災の原因になる。

三輪会長：蛍光灯の問題もあるが、この後のパソコンの更新にもお金がかかる。一度に支出するのは、予算的に苦しいので、計画的に考えなくてはならない。

河村常任理事：消費税があがるので、予算があれば両方やっておいた方がよい思う。

堀副会長：パソコンはいつまでに更新しなければならないのか？

河村常任理事：2020年の1月までに変えなければサポートが終わってしまう。

堀副会長：大事なデータが保管されているので、優先順位が高い。

三輪会長：パソコンの費用は大体どれくらいになりそうか？

河村常任理事：大体15万円から20万円と考えている。

三輪会長：事務所補修費から蛍光灯の工事費用に出せないか？

河村常任理事：税理士に相談してみることにする。事務所補修費から出せるようであれば消費税の上がる前に修理を行いたい。

三輪会長：河村常任理事からの報告を待ち、次回理事会にて承認をもらうこととする。

次回理事会にて事務所蛍光灯修理についてと事務所パソコン更新についてと議案とする。

1. **表彰規程（県以上）**

三輪会長：いつ作られたか分からないが選定基準がある。現状だと理事になっていない人は選定されない。理事もそうだが、委員などで色々なことで貢献してもらっている人がいるので、そういったことを評価できる評価基準に変えたい。5年後の県知事表彰までには明確な評価基準のものに変更しておきたい。

河村常任理事：県知事表彰自体の基準はあるのか？

三輪会長：50歳以上とか20年従事しているとかしかなかったように思う。

三輪会長：県以上の表彰委員会を別に立ち上げて、ここでの評価を点数化しておけば、当会のA評価だということが明確になる仕組みにしたい。

堀副会長：現在の表彰委員会で協議の対象は当会の表彰に限定している。県レベル以上のものは、表彰委員会から外したほうがよいのではないか。例えば常任理事会で行うとか。

三輪会長：常任理事会にすると議事録を公表しなくてはならないので、常任があつまる委員会にすればよいのではないか。細かい事まで公表せず、議事録を残しておき、県に求められた場合提出できるようにしたい。

三輪会長：今日のところは、継続審議としたい。

次回理事会にて表彰規程（県以上）について検討とし、今後も継続審議とする。

1. **線量計校正**

三輪会長：一昨年、アンケートで線量計の校正をしたい施設を聞いたら10件以上希望があったので実施したいと考えていたが、昨年は学会があったため行えなかった。今年予算を取って行う予定である。

各施設から線量計を持ち寄り校正を行う、またサーベイの実習を兼ねて行いたい。時期をいつにしたらよいか？

河村常任理事：予算の関係があるので12月か1月までには開催していただきたい。

三輪会長：場所は、済生会山口総合病院で行いたい。スタッフが必要になってくるので、原子力防災訓練関係の松永会員を中心に集めていきたいと考えている。日程は12月を目指して企画していきたい。

今年度、12月か1月までに線量計校正とサーベイ実習を行う。松永会員を中心にスタッフを集め調整を行う。次回理事会にて検討とする。

1. **医療放射線管理責任者について**

三輪会長：先ほど話したが診療放射線技師に医療放射線安全管理責任者をやってもらう施設を増やしたい。

次回理事会にて、医療放射線安全管理責任者について説明する。

1. **被ばく低減施設認定**

三輪会長：現在被ばく低減施設認定に保険点数を付けてもらいたいという動きがある。しかし、認定施設が少ない。各県最低2から3の認定施設がないと厚労省も無理だという話になっている。認定を取得する条件として放射線管理士と放射線機器管理士が施設にいなければならない。

当会としては、被ばく低減施設認定施設を増やしていきたい。

次回理事会にて、被ばく低減施設認定について説明する。

1. **地域再編について**

三輪会長：以前、地域再編委員会を立ち上げた。岩国地域や柳井・大島地域で総会を行うと会員数が少なく、かなり負担になっている。当会全体の会員数は増えてきたが、地域の偏りが出てきた。例えば、県を東部、中部、西部に分け3年に1度総会を担当する。3分割されたその中で地域理事が交代で準備委員長を引き受け、その他の地域が協力して総会を開くようにしてはどうか？

堀副会長：3年に1度総会の担当が回ると、山口地域はそれとは別に5年に1度記念式典も行わなければならなくなる。

河村常任理事：少ない会員の地域で学術大会をやることにも意味もある。普段参加されない方も参加できる。

三輪会長：3ブロックでなくても、4ブロックでも5ブロックでもよいが、どうしたのが最良だろうか？他の団体の分け方も参考にしたい。

大平常任理事：総会・学術大会のやる場所が限られてくるのであれば、ブロックごとの会場だけ決めて準備委員長だけ順番で変えていくのはどうか？

三輪会長：他地域で総会・学術大会を行うと、準備委員長と委員が全員宿泊することとなり、費用が増える。

河村常任理事：他の研究会で同じようなことを行ったが、会場近くの人間が準備しないと会場の交渉や宿泊準備など、かなり大変だった。

小田副会長：予め何年か先まで場所、担当地域を決めてしまってほうがよい。

三輪会長：そのうえで、準備委員長の地域は何人委員を出すとか、他の地域からは何人委員を出すとか、当日のスタッフは何人出すとかを事前に決めてしまったほうがよい。

三輪会長：総会を行うときには何人のスタッフが必要だとか、何を準備してください、だとか細かいマニュアルを整備したい。

堀副会長：地域再編しても地域理事の人数は変わらないので、各ブロックにて地域理事が相談し、準備委員長がどこで、その他の地域からは何人ずつ出してくださいというのを決めたらよいのではないか？

大平常任理事：予め決めておいてあげたほうが運用しやすくはないか？

小田副会長：地域の会員の意見を吸い上げられるかどうかも重要である。

大平常任理事：場所が固定できれば、いろいろな事を変えなくてよくなり、場所の下見などを行わずに済むのではないか。

三輪会長：5年に1度の記念大会は、執行部が中心に行ってもよいのではないかと考えている。

三輪会長：中部（山口地域）を5年に1度の記念大会だけにして、他の4年を西部と東部で交互に行ってもよいのではないか。

三輪会長：今話し合っている内容は、総会についてだが、ソフトバレーボール大会（球技大会）についても話合わなければならない。

「総会の担当地域を3ブロックに分ける。中部を5年に1度の記念大会のみにし、西部、東部は他の4年を交互に担当する。各ブロックにて準備委員長を地域ごとに順番に担当する。のこりの地域からは決められた人数のスタッフを輩出する。」を叩き台とし次回理事会にて検討する。

1. **会誌広告収入について**

三輪会長：会誌広告収入が年々減ってきている。

大平常任理事：賛助会員の導入を早くしてほしい企業があると聞いた。

堀副会長：賛助会員を設定したからといって、賛助会員にならないと広告を出せないわけではない。賛助会員になるか、今まで通り広告を出すかは、メーカーに選択してもらえばよい。

小田副会長：賛助会員になれば講習会に参加できるし、広告を出しても講習会に参加できる。どちらも差がなければ、どちらでもよいのではないか。

河村常任理事：賛助会員の方が、更新しなくても会費が入ってくる利点はある。

河村常任理事：今できることは、収入を増やすことなので、知り合いのメーカーに広告掲載の呼びかけをしてほしい。

小田副会長：収入が増えないのであれば、会誌を減らすという方法もある。

河村常任理事：とりあえずは、知り合いのメーカーさんに広告掲載のお願いをしていく。今後は会誌そのもののあり方の検討会はいるかもしれない。その中で賛助会員についても検討していけばよい。

三輪会長：広告は今まで通り継続で、プラスαで賛助会員という考えで2年後をめどに検討していきたい。JARTも支出を抑える努力をしているので、当会も努力していきたい。

河村常任理事：消費税があがるので、2%分くらいは節約していきたい。

次回理事会にて、広告掲載を増やすようお願いする。賛助会員については、継続審議とする。

1. **第75回総会時スタッフ駐車場代について**

三輪会長：次回第75回総会は防府のアスピラートで予定しているが、駐車場代が必要になるらしい。1台500円で、40台分程度必要となる。その駐車場代を役員・スタッフに交通費と一緒に渡すかどうか検討したい。

河村常任理事：支出が多くなるのは厳しいが、出さざるを得ないと思う。領収書払いという手段もある。

小田副会長：人数を把握してまとめ払いという手段は使えないだろうか？

三輪会長：領収書を引き換えに当会が駐車場代を支払う方向で検討していく。無料券を出してもらい、まとめて精算できればその方向で行いたい。

次回総会当日の駐車場代は、領収書引き換えで当会から支出する。まとめて精算できるようであればその様に変更する。

1. **総会当日、新任理事の昼食（お弁当）について**

三輪会長：次回総会で役員改正がある。新任理事のお弁当をどうするか？

河村常任理事：今までは、出していない。

三輪会長：当日理事会を行うので弁当を出したい。理事全員が変わるわけではないので、増えても数個程度になると思う。

河村常任理事：弁当代はすべて管理費となるので望ましくはないが、出すこととする。

次回総会時（役員改正）、新任理事の昼食（お弁当）を用意する事とする。

1. **次期役員選任について**

三輪会長：来年の総会で役員選任になるが、次の組織はまた考えさせてほしい。次の組織は3年後のCSFRTを見越したスタッフにしたいと考えている。方向性は今年中までには決めたい。

三輪会長：渡邊理事が主に教育委員をやってもらっているが、肺がん部会委員も兼務してもらっている。統一講習会やフレッシャーズセミナーなども担当していてかなり大変だと思う。肺がん部会委員だけでも誰かに変わったほうがよいと思う。

河村常任理事：肺がん検診を一生懸命されている方やCTをやっている方が適任ではないか。

三輪会長：その辺の話も今後検討することとする。

次期役員選任においての組織は、3年後のCSFRTを見越したものとする。今年中に方向性を決める。

1. **総会委任状回収方法について**

山本常任理事：以前、総会委任状の回収が大変だと地域理事の方が言っていたが、回収のよい方法はないか。

河村常任理事：委任状の配布については、会誌に綴じて配布するのがコスト面からもよい。

小田副会長：ハガキにすると個人情報保護シールを貼らなくてはならなくて、費用がかかる。封筒で回収したほうが費用は掛からない。料金後払いは1枚につき10円から15円程度の手数料になる。送料は別である。

三輪会長：各施設まとめて送れば、後払い手数料はそれほど掛からない。

小田副会長：料金受取人払の表示を予め封筒に印刷しておかなければならないが、印刷屋さんに頼めばお願いできる。

三輪会長：郵送で会誌を送る中に、その封筒を入れて各施設まとめて送ってもらうようにすればよいのではないか。

次回理事会において、総会委任状回収方法について検討する。

1. **電子申請について**

河村常任理事：公益目的支出計画実施報告書の計画記載事項を今まで変えていなかった。継続の事業ということで、事業の概要を変えないと引継ぎを受けていたが、昨年度の報告は変えてほしいということになったので修正した。県の講習会では新しい事業をするときは必ず届けてくださいと言われていた。それもすぐには認可されないので、必ず何か月か前に相談くださいというのがあるので、新しい事業かと思われるものは、その他に記載した。

公益目的支出計画実施報告書　計画記載事項の事業概要を変更し提出した。

一般社団法人山口県診療放射線技師会　令和元年度　第1回常任理事会

議事録作成人　山本　公志

会長　　　三輪　光良

議事録署名人　　小田真一郎

議事録署名人　　河村裕介